

# クワシロカイガラムシの発生状況と 防除方法について（第3世代）

平成30年9月13日  
埼玉県茶業研究所

クワシロカイガラムシ（以下クワシロ）の産卵や幼虫の発生は平年より早い見込みです。  
次の方法により、茶園の防除を適切に行ってください。

## 1 発生状況

第2世代の発生がかなりばらついたため、9月12日現在、一部で幼虫が定着しており、歩行幼虫が発生し始めているところもあります。

## 2 防除適期

今年の夏は高温が続き、積算温度からの推定と切り枝調査の結果が異なっています。ちなみに青梅アメダスデータによる推定防除適期は9月22日となっています。

9月12日現在の幼虫発生状況から、防除適期は9月15日～9月20日頃と想定されます。第2世代の発生量が少なく積算温度からの推定では地域による差がわかりにくくなっています。

なお、下記の日程で茶業研究所にて防除適期判定会を行いますので、クワシロが付いている枝を切って都合の良い時間にお持ちください。

### 防除適期判定会

日	時間	場所
9月18日（火）		

## 3 防除方法

プルートMCを散布していないほ場については、アプロードエースフロアブルまたはコルト顆粒水和剤を防除基準に従って散布してください。これらは、天敵に影響の少ない農薬です。株内の枝に十分液がかかるように丁寧に実施してください。

プルートMCを散布したほ場については、他の薬剤でこの時期に防除をする必要はありませんが、クワシロの発生については今後注意して観察を行ってください。

農薬を使用する際には、必ず使用農薬のラベルを確認しましょう

連絡先：埼玉県茶業研究所 農業革新支援担当 田中

TEL：04-2936-1351

※この通知は茶業研究所農業革新支援担当とJAいるま野が協力して  
作成し、お知らせしています。